

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2022年 6 月 1 日

神奈川県知事 殿

提出者

住所

神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-12
新横浜スクエアビル18階

氏名

西武建設株式会社 横浜支店 執行役員支店長 小野啓志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 045-474-1141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	西武建設株式会社 横浜支店	自主管理番号 (2282)
事業場の所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-12	TEL(連絡先): 045-474-1141
事業の種類	D-建設業 (具体的には) 総合工事業	
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年間)	

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,101.5 t	全処理委託量	4,101.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	399.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4,101.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	熱回収認定業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※ 事務処理欄

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

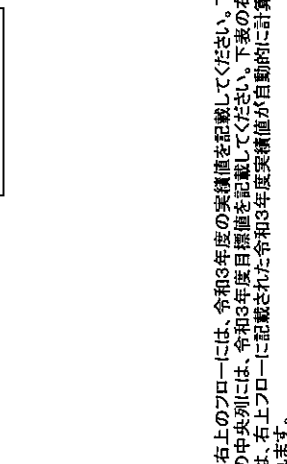
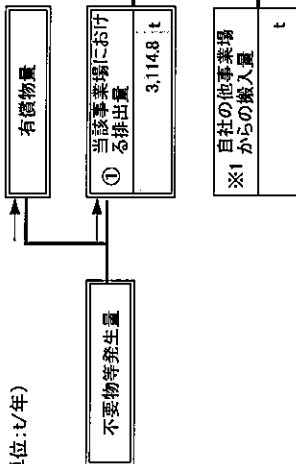
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類 **イ. 汚泥**

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

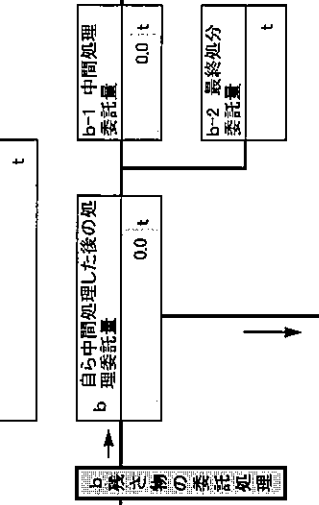
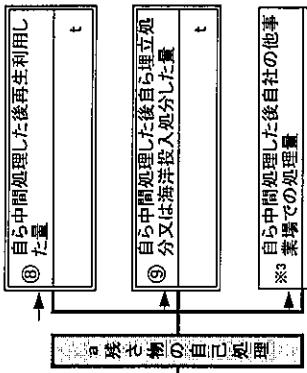
(単位: t/年)



項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	9.0 t	3,114.8 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	9.0 t	3,114.8 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	9.0 t	3,114.8 t
⑩ 熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑩ 熱回収業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称: 西武建設株式会社 横浜支店



項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑩のうち優良認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ ⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫のうち熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ ⑫のうち熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬のうち再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬のうち熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬のうち熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃ごみ
 - イ. 汚泥
 - ウ. 灰田
 - エ. 灰田
 - オ. 灰田
 - カ. アスファルト
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ク. 繊維くず
 - ク. ユ. 動物性残渣
 - ク. サ. 動物系固形不燃物
 - ク. シ. ス. 金属くず
 - ク. ヤ. 廃プラスチック類
 - ク. カ. 入り容器・包装物
 - ク. 陶磁器くず
 - ク. ぬい
 - ク. かんき
 - ク. 動物の死体
 - ク. ばいじん
 - ク. 混合産業物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

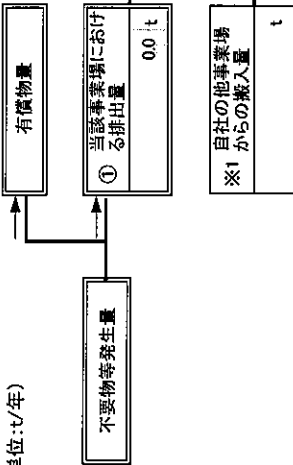
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

プロに記載した産業廃棄物の種類 オ. 廃アルカリ

※ 不用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

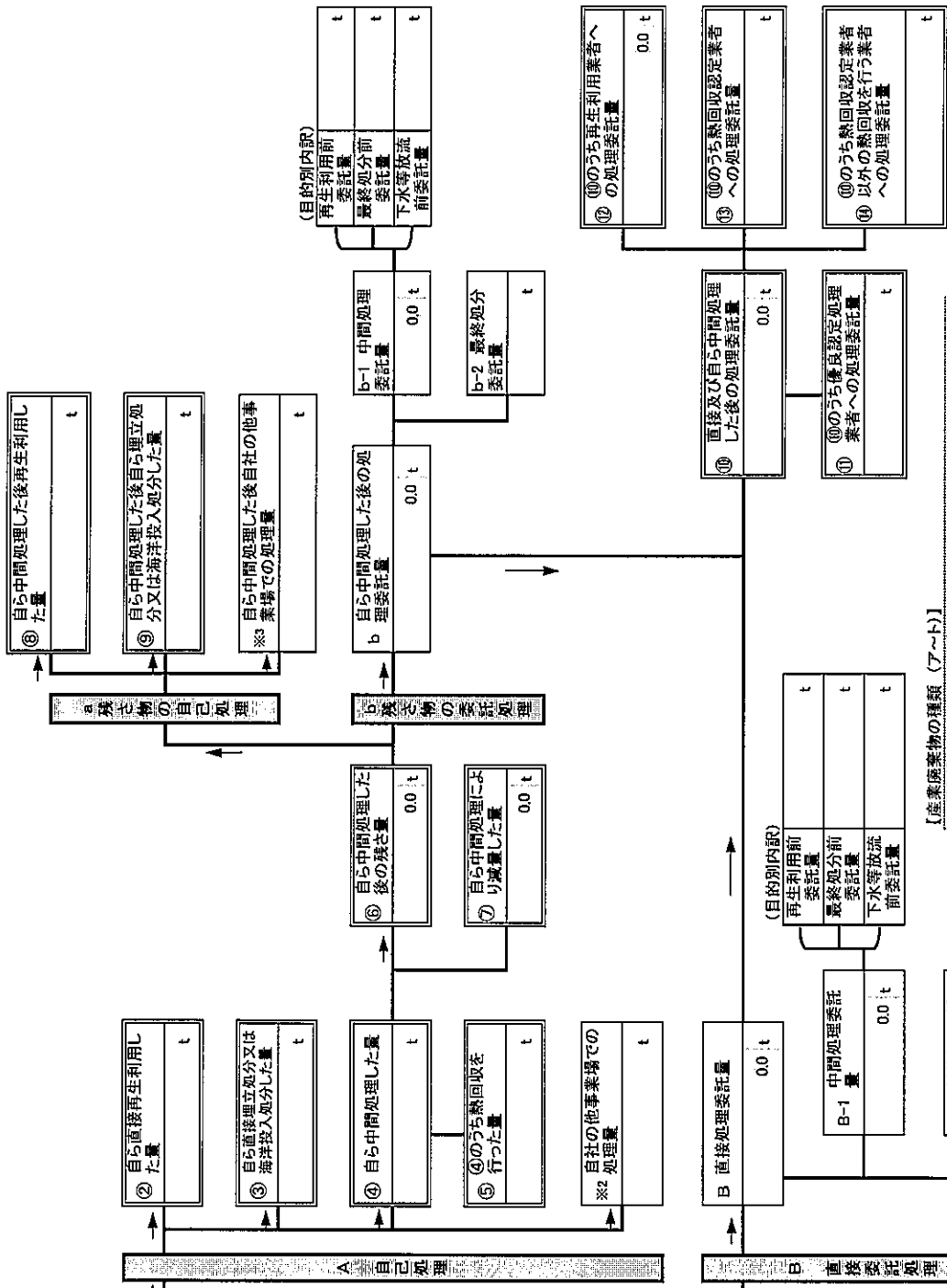


注) 右よりのフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右フローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	2.9 t	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.9 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.9 t	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称: 西武建設株式会社 横浜支店

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 廃プラスチック類
 - イ. 廃紙類
 - ウ. 繊維くず
 - エ. 廃金属類
 - オ. 廃油類
 - カ. 動物性脂肪
 - キ. 動物系固形不要物
 - ク. 廃アルカリ
 - ケ. 金属くず
 - コ. 廃ガラス等
 - サ. 廃プラスチック類
 - シ. 紙くず
 - ス. 繊維くず
 - セ. 廃ガラス等
 - ソ. 廃プラスチック類
 - タ. 廃紙類
 - チ. 繊維くず
 - ツ. 動物性脂肪
 - テ. 動物系固形不要物
 - ト. 廃アルカリ
 - ト. 金属くず
 - ト. 廃ガラス等
 - ト. 繊維くず
 - ト. 廃プラスチック類
 - ト. 廃紙類
 - ト. 繊維くず
 - ト. 動物性脂肪
 - ト. 動物系固形不要物
 - ト. 廃アルカリ
 - ト. 金属くず
 - ト. 廃ガラス等
 - ト. 繊維くず

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

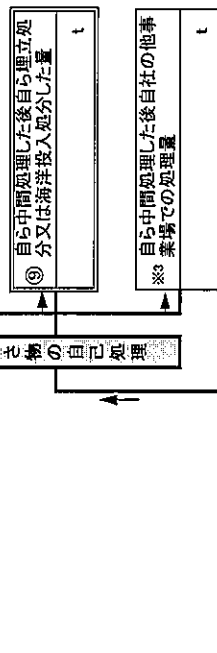
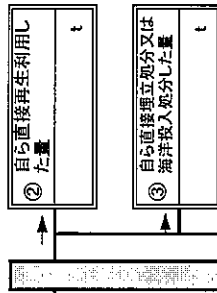
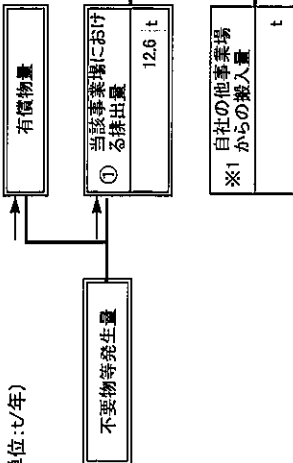
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	73.0 t	12.6 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	73.0 t	12.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	33.0 t	5.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	73.0 t	12.6 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 繊維くず
 - ク. 紙くず
 - コ. 動植物性残さ
 - ケ. 動植物の死体
 - ク. ばいじん
 - コ. ゴムくず
 - セ. 金属くず
 - サ. 廃プラスチック類
 - シ. 繊維くず
 - ス. カラスノミ
 - セ. 以上を総称くす
- 【その他】
- リ. ぬい
 - ル. がれき類
 - ロ. 動物のふん尿
 - リ. 動物の死体
 - レ. ばいじん
 - ロ. 混合廃棄物その他

該当する欄に○印を記入してください。

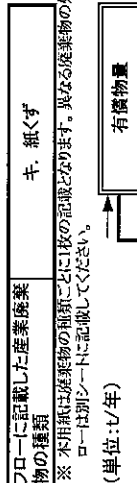
3-2	法定	○	自主
-----	----	---	----

事業場名称：西武建設株式会社 横浜支店

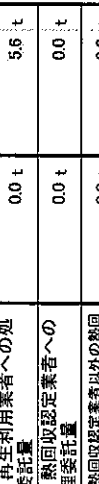
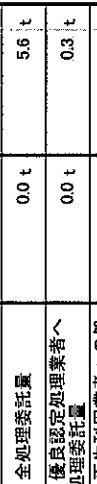
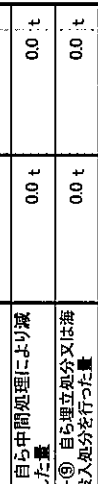
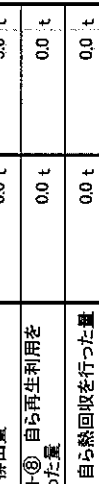
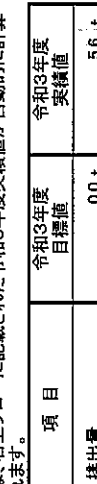
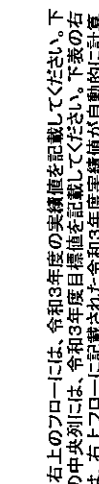
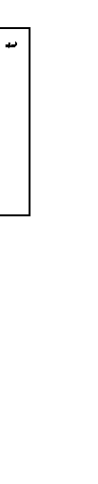
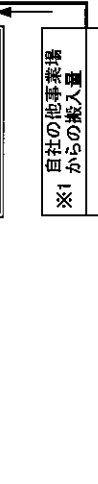
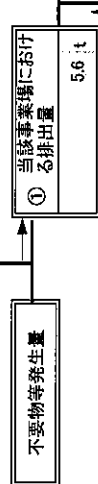
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果



項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	0.0 t	5.6 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑥+⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑧ 全処理委託量	0.0 t	5.6 t
⑨ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.3 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	5.6 t
⑪ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



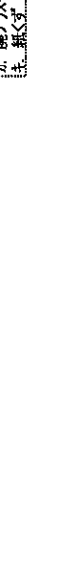
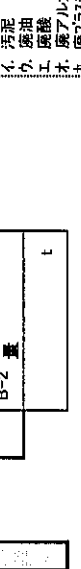
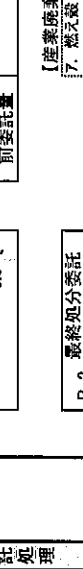
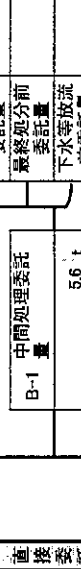
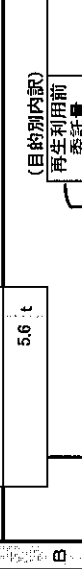
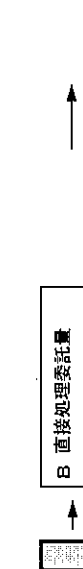
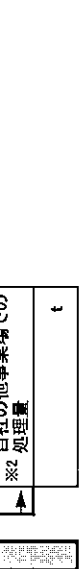
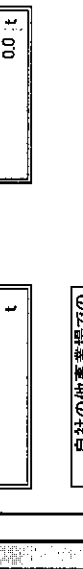
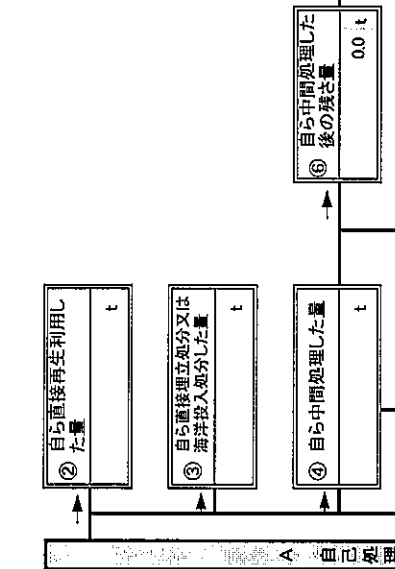
注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称：西武建設株式会社 横浜支店

【紙くず】には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告表外です。
【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製産業、新聞業、新聞業（新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの）、出版業（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工事物の新築、改築、修繕に伴って生じたもの）

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

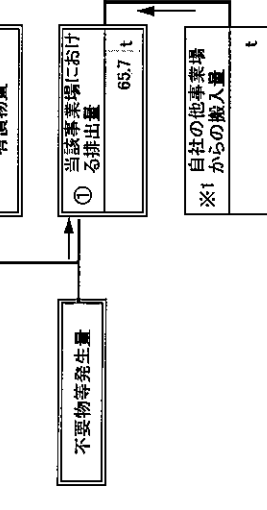
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

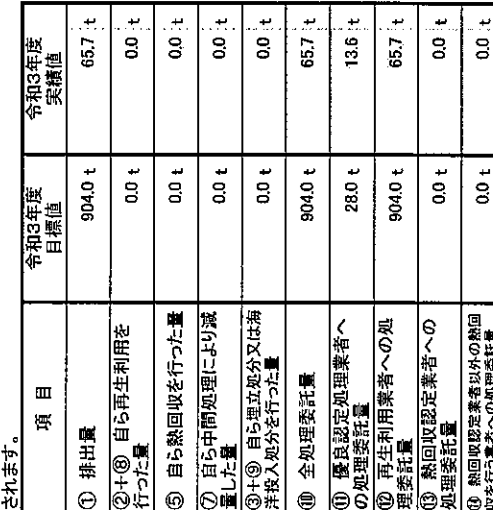
フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

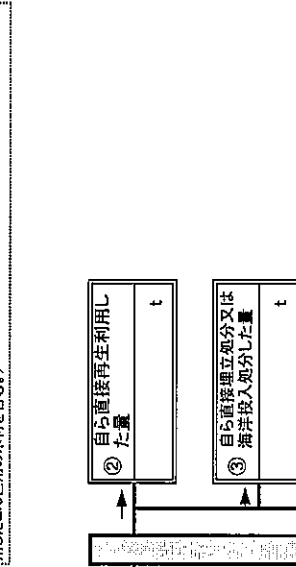


項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	904.0 t	65.7 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	28.0 t	13.6 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

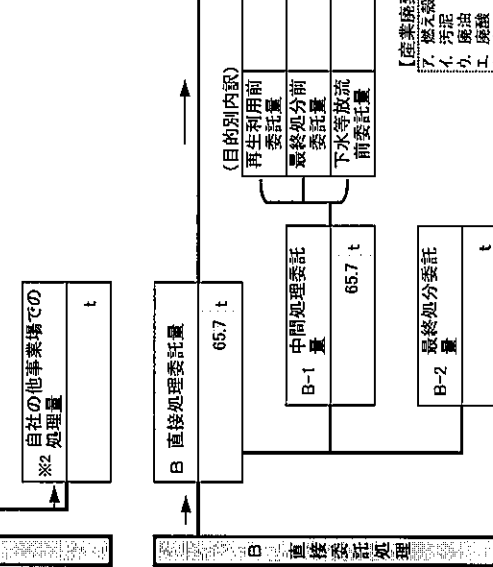


項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	904.0 t	65.7 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	28.0 t	13.6 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

「木くず」には塗料等が混入し、該当業務以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業務】木くず又は木製品の製造業(製材業等)・パルプ製造業・輸入木材の卸売業及び物品倉庫業に属するもの、建設業(工作物の前段、改築、除去に伴って生じたもの)。(全業種対象)貨物の流通のために使用したパレット(トレイ)への貨物の積付けのために使用したこの包装の木材を含む。



項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	904.0 t	65.7 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	28.0 t	13.6 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	904.0 t	65.7 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	28.0 t	13.6 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	904.0 t	65.7 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称：西武建設株式会社 横浜支店

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

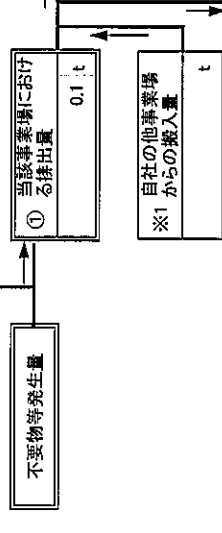
令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

ケ. 繊維くず

※ 未用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



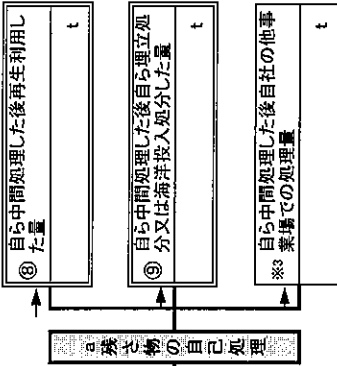
注) 右の上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	18.6 t	0.1 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	18.6 t	0.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	6.0 t	0.1 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	18.6 t	0.1 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称: 西武建設株式会社 横浜支店

該当する欄に○印を記入してください。	法定	自主
3-2	○	

「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
(該当業種) 繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)



(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭ ⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 繊維くず
- ク. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- ク. 動物の死体
- ケ. 動物の糞尿
- セ. ばいじん
- ソ. 石膏
- タ. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

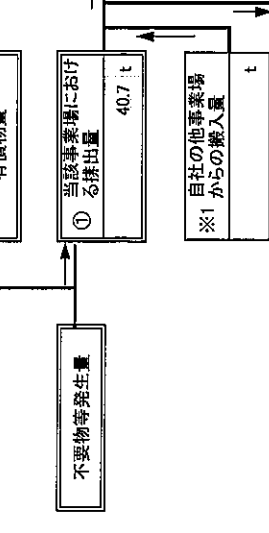
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

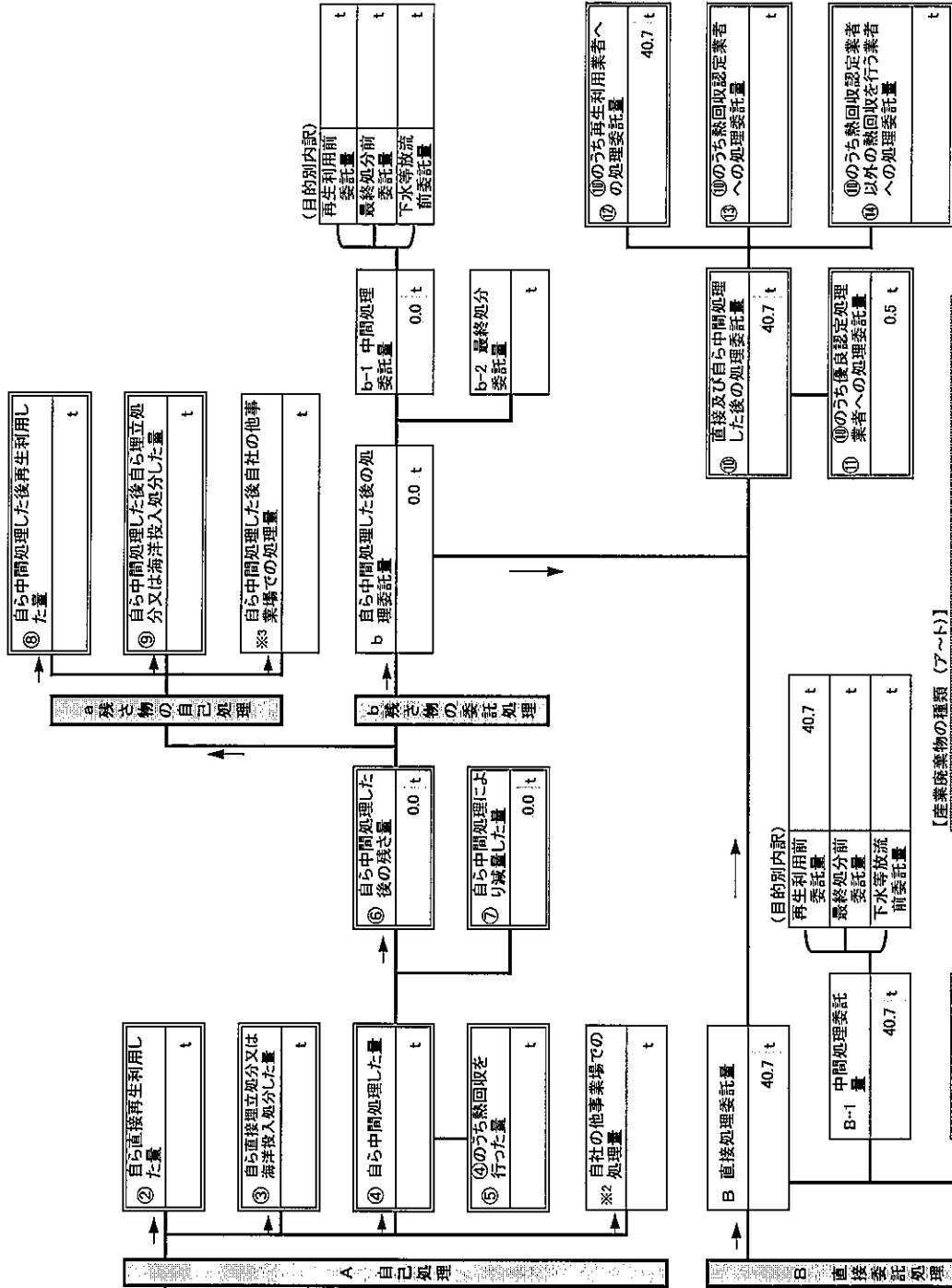


注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右よりのフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	0.0 t	40.7 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら廃立処分又は海洋投入を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	40.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.5 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	40.7 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。	法定	自主
3-2	○	

事業場名称 : 西武建設株式会社 横浜支店



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 繊維くず
- ク. 動植物性炭
- コ. 動物系固形不燃物
- サ. 金属くず
- シ. 金属くず
- ス. 繊維くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 灰
- タ. 石膏
- チ. 粉じん
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

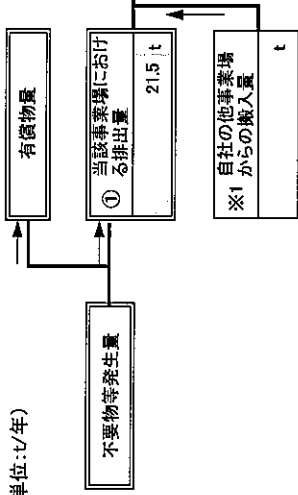
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

プロローに記載した産業廃棄物の種類

七. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
※ 未用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

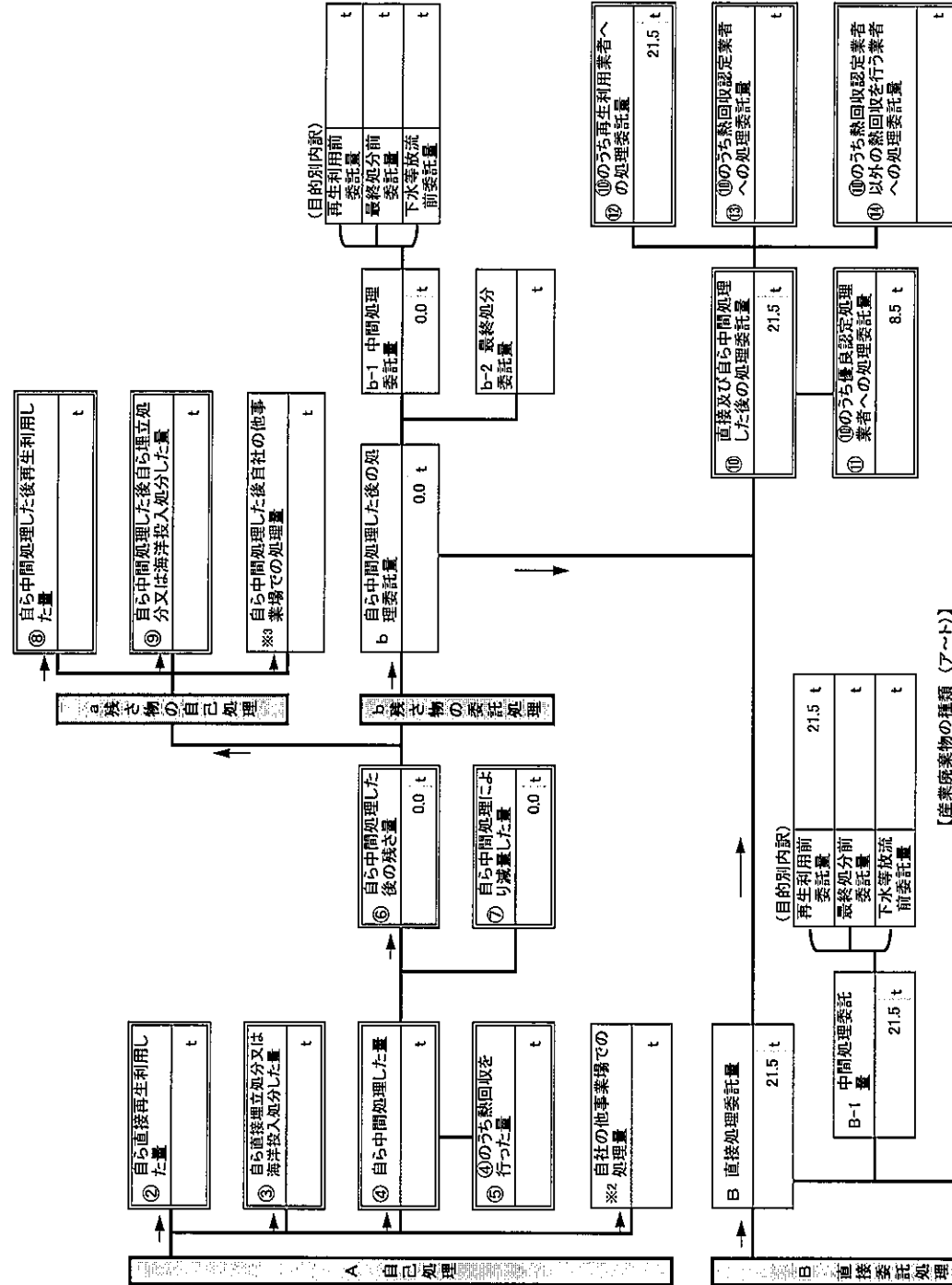


注) 右上のプロローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右フロローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	252.0 t	215.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t	0.0 t
③+⑥ 自ら廃立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	252.0 t	215.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	174.0 t	8.5 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	252.0 t	215.5 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称 : 西武建設株式会社 横浜支店

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 〇 自主



- 【産業廃棄物の種類 (アール)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃液
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. 廃プラスチック類
 - ソ. 繊維くず
 - タ. 陶磁器くず
- リ. 灰塵
ル. がれき類
レ. 動物のふん尿
ロ. 動物の死体
ハ. ばいじん
ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

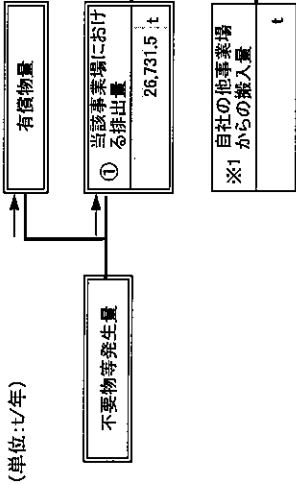
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類 タ、がれき類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

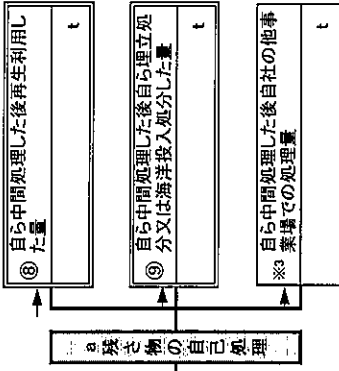


注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください、下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください、下表の右列は、右上のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	2,598.0 t	26,731.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら焼立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2,598.0 t	26,731.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	113.0 t	30.7 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	2,598.0 t	26,731.5 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称：西武建設株式会社 横浜支店



(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

b-1 中間処理委託量	0.0 t
b-2 最終処分委託量	t

⑫のうち再生利用者への処理委託量	26,731.5 t
------------------	------------

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
--------------------	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
-------------------------------	---

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	26,731.5 t
---------------------	------------

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	30.7 t
---------------------	--------

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 繊維くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物由来固形不燃物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. プラスチック類
- ソ. 紙くず
- タ. 灰
- チ. 灰
- リ. 灰
- ニ. 灰
- ノ. 灰
- ハ. 灰
- ヘ. 灰
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

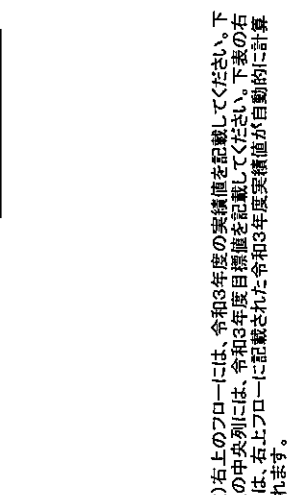
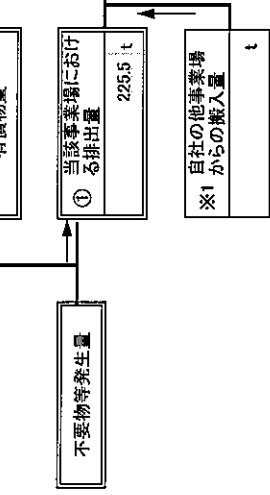
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類
 産業廃棄物、混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

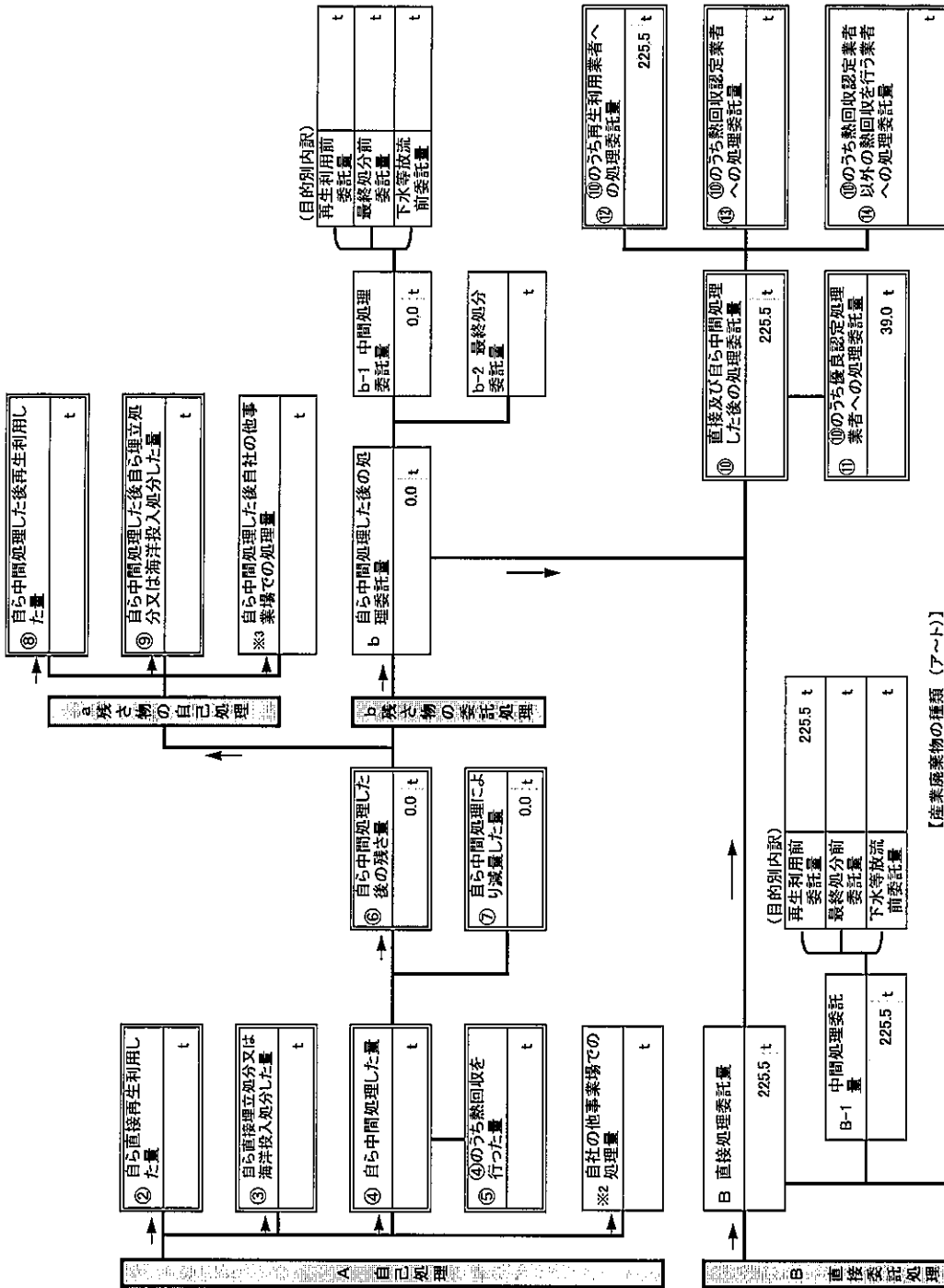


項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	244.0 t	225.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら焼却処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	244.0 t	225.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	45.0 t	39.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	244.0 t	225.5 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
 3-2 法定 自主

事業場名称： 西武建設株式会社 横浜支店

(第2画)



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃アルカリ
 - オ 廃プラスチック類
 - カ 紙くず
 - キ 繊維くず
 - ク 木くず
 - ケ 燃え殻
 - コ 動物性残渣
 - サ 動物系固形不要物
 - シ コムクズ
 - ス 金属くず
 - セ 廃プラスチック類
 - ソ 紙くず
 - タ 混合廃棄物その他

⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量

⑭のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑭のうち再生利用業者への処理委託量

⑭のうち再生利用業者への処理委託量

⑭のうち再生利用業者への処理委託量

⑭のうち再生利用業者への処理委託量

⑭のうち再生利用業者への処理委託量

⑭のうち再生利用業者への処理委託量

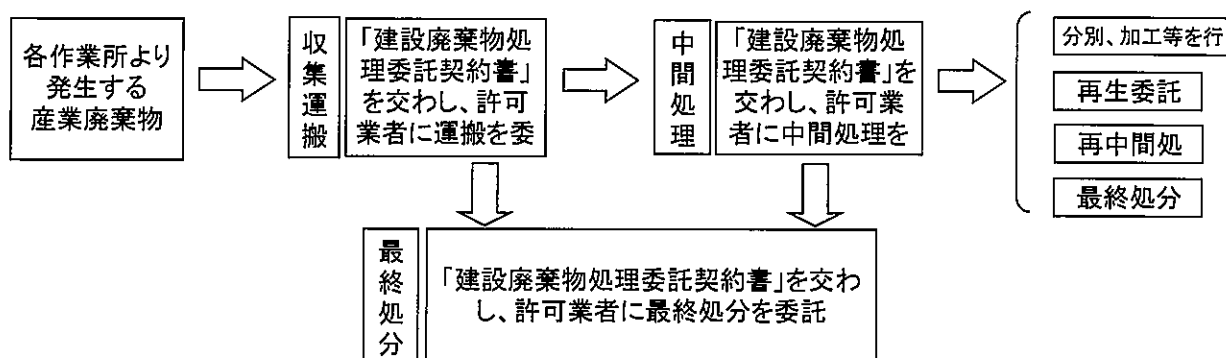
備考

- 1 当該年度(令和4年度)の6月30日までに提出してください。
- 2 「事業の種類」欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和3年度)提出の産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。
- 4 第2面(様式3-2)には、前年度(令和3年度)の産業廃棄物処理実績に関して①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面(様式3-2)の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。
- 6 ※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物の一連の処理の工程

- 1) 産業廃棄物の収集運搬・処分許可業者と契約書を交わして委託し、マニフェストにて管理する。
(可能な場合は、電子マニフェスト・電子委託契約とする。)

契約前に、許可証の有効期限・許可内容、車両一覧表、運搬ルート図、反社会的勢力でないこと等を確認してから契約を行う。



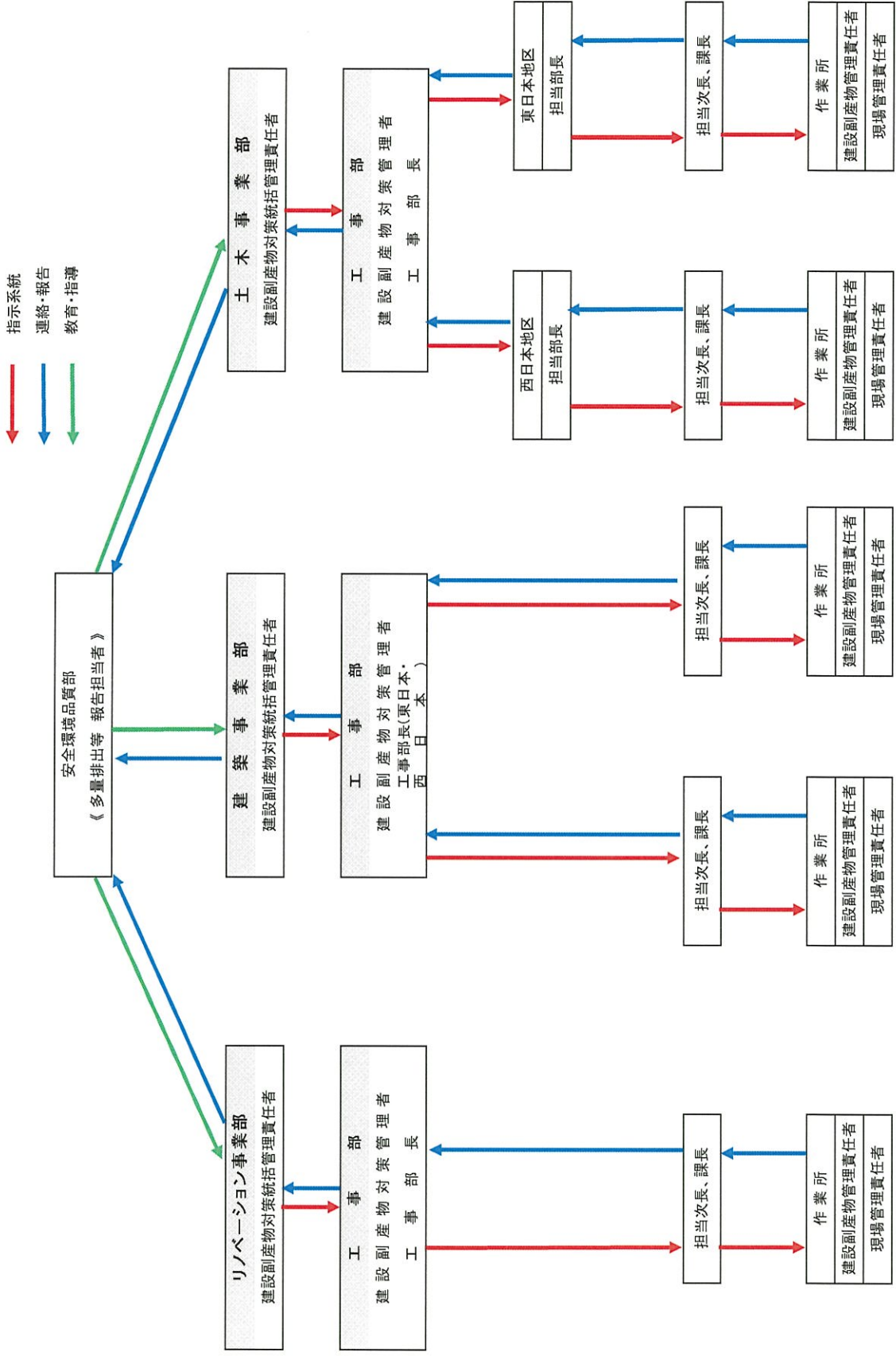
2) 産業廃棄物の一連の処理の工程

- ・建設汚泥→再生処理業者に委託→リサイクル土材とし売却
- ・廃プラスチック類→塩ビ管、代替え燃料 等
- ・紙くず→再生処理業者に委託→再生紙、代替え燃料 等
- ・木くず→再生処理業者に委託→再生紙、代替え燃料 等
- ・繊維くず→再生処理業者に委託→セメント代替原料、肥料
- ・金属くず→再生処理業者に委託→金属原料
- ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず→再生原料として売却
- ・がれき類→再生処理業者に委託→→再生原料として売却
- ・混合廃棄物→再生処理業者に委託→分別し、各品目ごとにリサイクルを行う
- ・廃油→再生処理業者に委託→→中和し有価売却、最終処分
- ・廃酸→再生処理業者に委託→→中和、中和酸化還元凝集沈殿し有価売却、最終処分
- ・廃アルカリ→再生処理業者に委託→→中和、中和酸化還元凝集沈殿し有価売却、最終処分
- ・水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)→再生処理業者に委託→再生ガラス製品、アルミ材、水銀
- ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず→安定型又は管理型最終処分場に埋立
(石綿含有産業廃棄物含む)
- ・廃プラスチック類→安定型又は管理型最終処分場に埋立
(石綿含有産業廃棄物含む)
- ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず→再生原料として売却
(廃石膏ボード含む)
- ・がれき類→安定型又は管理型最終処分場に埋立
(石綿含有産業廃棄物含む)

建設副産物対策管理組織図

別紙2

作成日 2022年4月1日



※やむを得ず、紙マニフェストを使用した場合は、随時 (株)イーリバーシステムに登録する。「情報の一元化」